

令和8年度 静岡ビジネスインターンプログラム

～海外大学からのインターン受入企業を募集します～

静岡県では、海外の大学等から外国人学生を受入れて、インターンシップを実施していただく企業を募集しています。成長著しいインドを始めとするアジア各国での事業展開など、ビジネスの国際化をお考えの企業の皆様は、この機会をぜひ御活用ください。

<受入れのメリット>

- ・ 外国人に業務を教えることによる社員の成長、組織内の国際化・活性化
- ・ 外国人の着眼点による新しい発想の活用
- ・ インターン生の母国での知名度向上（現地法人での人材確保に貢献）



1. 募集概要

- 応募要件 県内に事業所があり、以下の条件での受入れ、研修が可能な企業
- 研修期間 令和8年7月7日（火）～8月20日（木）の45日間（予定）
※研修期間は変更となる可能性があります。
- 研 修 生 日本語を学習しており、将来日本と関係のある仕事に就くことを希望する以下の国の学生
※原則として、1社につき1名の受入れとなります。
- ・ 台湾（屏東科技大学）
 - ・ モンゴル（新モンゴル工科大学）
 - ・ インド（グジャラート大学、SRM大学）

<参加校一覧>

国	学校名	概 要
台湾	屏東科技大学	農業の専門学校として設立された国立の総合大学。農学部 のほかに、工学部や管理学部、獣医学部など7つの学部を 設置している。
モンゴル	新モンゴル工科大学	東京工業大学などをモデルに設立された私立工科大学で、 経営と技術の融合を目指す。横浜国立大学や名古屋工業大 学などと連携している。
インド	グジャラート大学	商学部、理学部、日本語を含む外国語学部などを持つ州立 の総合大学。県と経済産業分野（人材供給等）の覚書を2024 年に締結した。
	S R M大学	理工系の有名私立大学。60社以上の企業と研究連携をして おり、早稲田大学、静岡大学等と国際交流がある。日本企 業への就職実績もある。

○研修内容 研修生決定後、各社にて研修計画を作成していただきます。
 なお、研修活動が金銭的対価を発生させ、自社の利益として還元されるこ
 とのないよう御注意ください（例：商品製造ラインでの作業は認められま
 せん）。御不明な点は、お問合せください。

○費用負担 ・純粋な研修目的のため、賃金等の支払いは不要です。
 ・研修期間中の研修生の宿泊先（社員寮、マンスリーマンション等）を
 御用意ください。
 ・その他は費用負担表のとおりです。

<費用負担表>

内 容		負担区分	
		受入企業	研修生
旅費・保険	渡航費（ビザ発給費用含む）		○
	海外旅行者傷害保険		○
	静岡市内集合地点まで(から)の交通費		○
研修経費	通勤費、出張旅費、資料費、制服等	○	
	オリエンテーション及び修了式参加のための県庁と企業間の交通費	○	
宿泊費	研修期間中の宿泊費用（水道光熱費を含む）	○	
食 費	研修期間中の飲食費		○
そ の 他	生活費、個人的費用		○

2. 受入れまでの流れ（予定）

令和8年	～2月	受入企業の募集
	2月～4月	学生募集
	4月～5月	学生とのマッチング、受入企業の決定※1
	5月～	受入れの準備 (ビザ発給手続き※2、研修スケジュールの作成、宿泊先の確保等)
	7月～8月	研修の実施

※1 研修生と受入企業のマッチングは静岡県が行います。マッチングの結果によっては御希望に沿えない場合もございます。

※2 モンゴル及びインドの研修生を受入れる場合は、短期滞在査証（90日）の取得手続きが必要になります。

3. 応募方法

申込書に必要事項を記入の上、下記のメールアドレスへお送りください。

4. 応募期限

令和8年2月13日（金）

5. その他

天災地変、火災、戦争、ストライキ、流行病、その他不可抗力の事由により、インターンシップを実施することができないと県が判断した場合には、これを中止することがあります。この場合の費用負担も費用負担表のとおりとし、県はインターンシップの中止によって発生する不利益に関して一切の責任を負いません。

6. お問い合わせ・申込先

静岡県経済産業部 企業立地推進課 担当：服部

電話：054-221-2217

E-mail：ksuishin@pref.shizuoka.lg.jp